資料５

益城町中期財政見通し（R2.９月作成）　一般会計をベースに令和元年度決算を基に試算

【歳入】　（単位：百万円）

区分	R元 決算額	R2 見込額	R3 見込額	R4 見込額	R5 見込額	R6 見込額	R7 見込額	R8 見込額
町税、地方交付税等 （臨財債含む）	8,846	9,276	9,208	9,366	9,473	9,711	10,176	10,429
町債（臨財債除く）	11,405	8,407	3,692	3,629	1,406	766	229	60
国庫支出金等、 その他	28,242	19,345	5,646	4,658	5,174	4,375	4,073	3,919
歳入合計　A	48,493	37,028	18,546	17,653	16,053	14,852	14,478	14,408

【歳出】

区分		R元 決算額	R2 見込額	R3 見込額	R4 見込額	R5 見込額	R6 見込額	R7 見込額	R8 見込額
義務的 経　費	人件費	2,379	2,466	2,462	2,333	2,357	2,244	2,228	2,131
	扶助費	1,724	1,751	1,780	1,808	1,837	1,866	1,896	1,927
	公債費	941	1,438	1,874	2,052	2,175	2,461	3,020	3,383
	うち地震分	58	590	881	1,016	1,273	1,662	2,288	2,706
投資的経費		34,482	19,604	6,017	4,875	3,250	1,735	826	423
うち地震分		32,582	18,123	5,424	4,596	2,126	1,308	434	108
その他の経費		7,265	11,588	7,388	7,336	7,221	7,041	6,807	6,736
歳出合計　　B		46,791	36,847	19,521	18,404	16,839	15,347	14,777	14,599

	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
財源不足額 （A-B）C	1,702	181	▲975	▲751	▲786	▲495	▲299	▲191

【試算結果を踏まえて】

- 災害公営の住宅整備完了、復旧事業については、益城中・役場庁舎等が残る。
- 熊本地震関連の償還が本格化する令和２年度以降、公債費が増加。
- 町税の増により財源不足額は前回試算よりも減少傾向にあるものの、Ｒ３年度以降の財源不足への対策として、事務事業の見直しによる歳出削減や財政調整用基金を充当する。
- 財源不足を解消するため、事務事業の徹底した見直し及び効率的な予算の執行等に取り組むとともに、負担金や使用料等の見直し等更なる収支改善に向けた対策を実施し、引き続き国・県に対して財政支援を要望していくこととしている。